

国分寺市の年表

時代	西暦・和暦 (年号)		主な出来事 [国]: 国指定文化財 / [都]: 東京都指定文化財 / [市]: 国分寺市指定文化財
旧石器	35000 年前頃		この頃、市内に人が住み始める。〈市内最古の遺跡、多摩蘭坂遺跡で「立川ローム層第 X 層出土石斧群 [市]」が出土〉
	18000 年～ 12000 年前頃		市内各所でナイフ形石器等が作られる。〈光町遺跡、多摩蘭坂遺跡、熊ノ郷遺跡「国分寺所蔵資料 (旧国分寺市文化財保存館) [市]」、花沢東遺跡、武蔵国分寺跡、殿ヶ谷戸・殿ヶ谷戸北遺跡〉
縄文	草創期	12000 年前頃	市内で最初に縄文土器、有舌尖頭器が使われる。〈恋ヶ窪東遺跡では、旧石器時代終わりから縄文時代初めにかけて生活が続く〉
	早期	10000 年前頃	市内で最初に竪穴住居で人々が住み始める。〈多喜窪遺跡・恋ヶ窪南遺跡など〉
	前期	6000 年前頃	縄文海進に伴って人々が移動し、市内の住居が少なくなる。〈花沢東遺跡で竪穴住居跡 1 か所、多喜窪遺跡・恋ヶ窪遺跡などで土器片が少量出土〉
	中期	5000 年前頃	市内に大集落がつくられる。〈恋ヶ窪遺跡「硬玉製大珠 [市]」・多喜窪遺跡「武蔵多喜窪遺跡第一号住居跡出土品一括 [国]」〉この時期の後半から後期にかけて市内で敷石建物が増える。〈恋ヶ窪東遺跡など〉
	後期	4000 年前頃	湿潤な気候となり、食料採取が容易な場所に人々が移動する。〈恋ヶ窪東遺跡、八幡前遺跡、羽根沢遺跡など〉
晩期	3000 年前頃	市内に人がほとんどいなくなる。〈土器が少量出土するのみで、住居跡はない〉	
弥生	紀元前 300 年頃		市内に住む人がいなくなる。〈花沢西遺跡の遺物包含層から土器片のみ〉
古墳	300 年頃		市内に住む人がいない時期が続く。〈武蔵国分寺尼寺跡付近から土師器の甕片のみ〉
飛鳥	685	天武 14 年	この頃、五畿七道がほぼ成立する。
	7 世紀末～8 世紀初頭		武蔵国は東山道に属し本道からの往還路、東山道武蔵路 (「東山道武蔵路跡 [国]」) が整備される。
奈良	710	和銅 3 年	白鳳時代後期に関東で「銅造観世音菩薩立像 [都]」が製作される
	741	天平 13 年	●平城京に遷都 聖武天皇が諸国に国分寺 (僧寺・尼寺) の建立を命じる。
	757	天平宝字元年	この頃、武蔵国分寺 (「武蔵国分寺跡 [国]」) の主要な建物が完成する。〈「武蔵国分寺跡出土の小型海獣葡萄鏡 [市]」〉
	771	宝亀 2 年	武蔵国が東山道から東海道へ所属替え。〈「武蔵国分寺跡出土の金銅製円形飾金具 [市]」〉
	794	延暦 13 年	●平安京に遷都
平安	835	承和 2 年	武蔵国分寺の七重塔が落雷により焼失。
	845	12 年	男衾郡の前大領壬生吉志福正が七重塔再建を願い出て許可される。
	847	14 年	武蔵国分寺中院の僧最安が一切経を書写する (奈良法隆寺所蔵「大菩薩藏経」巻 13 奥書)。
	848	嘉祥元年	玉造小町が真姿の池 (「真姿の池湧水群 [都]」) で難病を平癒したと伝えられる (『医王山縁起』)。
	10 世紀中頃		この頃、正倉院所蔵の佐波理蓋第二号と共通した文様の「唐草四獣文銅蓋 [都]」が製作される。
	平安時代末～鎌倉時代初		この頃、現在の愛知県瀬戸市付近で生産されたと推定される「武蔵国分寺跡出土の緑釉花文皿 [都]」が作られる。この頃、武蔵国分寺の伽藍地区画溝の北辺付近に建物 (「土師竪穴住居跡 [市]」) が建てられる。
鎌倉	1192	建久 3 年	この頃、「木造薬師如来坐像 [国]」が製作される。
	1288	正応元年	●源頼朝征夷大将軍に任ぜられる。
	1333	元弘 3 年	現存する市内最古の板碑が造られ、それ以降、室町時代にかけて伝祥応寺跡や恋ヶ窪廃寺跡などで板碑が造立される。
建武新政	1336	3 年	この頃、鎌倉と北関東を結ぶ道が開かれ、鎌倉街道「上道」 (「伝鎌倉街道 [市]」) が市内を通過する。
	1335	建武 2 年	分倍河原の合戦の戦乱に巻き込まれ、武蔵国分寺が焼失する (『医王山縁起』)。
室町	1336	3 年	●鎌倉幕府滅びる。
	1400	応永 7 年	●足利尊氏幕府を開く。
	1426	33 年	新田義貞の寄進により薬師堂が建立され、武蔵国分寺が再興される (『医王山縁起』)。
戦国	1486	文明 18 年	●徳川家康が関東に入国する。
	1556	弘治 2 年	国分寺薬師如来の脇侍日光・月光菩薩の造立勸進文を深大寺の僧長弁が起草する (『長弁私案抄』)。
安土桃山	1486	文明 18 年	国分寺薬師如来の宝前に妙法蓮華経 6 部が施入される (『長弁私案抄』)。
	1573	天正元年	聖護院道興准后が関東を旅行して恋ヶ窪に立寄り、紀行文「廻国雑記」に和歌一首を残す。
	1590	18 年	国分寺伝来の「木造書見台 墨書名「弘治二年 [市]」が作られ、「弘治二年八月十六日 武蔵國最勝院本堂用」と墨書される。
	1603	慶長 8 年	●室町幕府滅びる。
	1648	慶安元年	●徳川家康幕府を開く。
	1650	3 年	三代将軍徳川家光が国分寺薬師堂領を安堵する「徳川將軍家寺領安堵朱印状 [市]」を発給する (十四代家茂まで 9 通)。
	1654	承応 3 年	この頃作成の『武蔵田園簿』に国分寺村、恋ヶ窪村が記載される。
	1657	明暦 3 年	この頃、国分寺本堂裏の「国分寺のコウヤマキ [市]」が育ち始める (現在樹齢 300 年を超える)。
	1678	延宝 6 年	羽村から江戸まで玉川上水が開通する。
	1718	享保 3 年	玉川上水から国分寺村・恋ヶ窪村・貫井村の 3 か所で分水を引く。〈「恋ヶ窪村分水 [市]」〉
	1719	4 年	府中領総検地。〈国分寺村・恋ヶ窪村に後世の写しであるが検地帳が残っている〉
	1722	7 年	この年から昭和期まで書かれた「本多良雄家古文書 [市]」が残っている。
	1726	11 年	宝暦年間 (1751～64) に建造されたと伝わる「国分寺仁王門 [市]」 (西元町一丁目) 内の仁王像が作られる。
	1730	15 年	この年から昭和期まで書かれた「戸倉義助家古文書 [市]」が残っている。
	江戸	1736	元文元年
1739		4 年	祥応寺が国分寺村から本多に引寺される。この際に「祥応寺のコノテカシワ [市]」も移植されたと伝えられている。
1748		寛延元年	この年から寛保元年 (1741) まで「武蔵野新田成立期の御用留 [市]」が作られる。
1756		宝暦 6 年	武蔵野新田検地実施。市域内の新田が検地を受ける。
1767		明和 4 年	「元文元年野中新田検地帳 [市]」が作られる。
1773		天明 3 年	●押立村 (現府中市) 名主平右衛門が南北武蔵野新田場世話役に任命される。
1795		寛政 7 年	市域が尾張徳川家の鷹場に組入れられる。
	1795	寛政 7 年	「国分寺薬師堂 [市]」 (西元町一丁目) が現在の場所に建て替えられる。
	1795	寛政 7 年	国分寺薬師堂の境内に「武蔵国府中国分寺碑記」が建立される。
	1795	寛政 7 年	この頃、現在の国分寺仁王門が建造される。 (宝暦年間: 1751～1763)
	1795	寛政 7 年	武蔵野新田養料金制度の記録「南北武蔵野新田養料金始末書 [市]」が作られる。
	1795	寛政 7 年	『武蔵野地名考』、『調布日記』、『武蔵名勝図絵』、『新編武蔵風土記稿』、『江戸名所図会』、『嘉陵紀行』などの地誌に武蔵国分寺跡や古瓦が紹介される。 (享保～天保年間)
	1795	寛政 7 年	中藤新田観音寺 (西町二丁目) に、「川崎平右衛門及び観音寺中興開山供養塔 [市]」が建立される。

時代	西暦・和暦(年号)	主な出来事 [国]: 国指定文化財 / [都]: 東京都指定文化財 / [市]: 国分寺市指定文化財
江戸	1799 寛政 11 年	現妙法寺(北町三丁目)境内に「川崎・伊奈兩代官謝恩塔[市]」が建立される。 この塔の内部に「武蔵野新田養料金一件始末書[市]」が納められる。
	1809 文化 6 年	幕臣で文人の大田南畝(蜀山人)が武蔵国分寺跡、国分寺薬師堂、恋ヶ窪村を訪れる(『調布日記』)。
	1819 文政 2 年	中藤新田観音寺に木仏観正碑が建立される。
	1820 3 年	〈『疫病神の詫び証文[市]』にこの年の年号が記されている〉
	1836 天保 7 年	この年から明治3年(1870)まで「村巨細日記[市]」が作られる。
	1843 14 年	水野越前守忠邦ら幕府の要人が、府中から国分寺を経て小金井桜まで遠馬に来る。
	1848 弘化 5 年	国分寺村名主屋敷(現おたかの道湧水園)に長屋門(「日本多家住宅長屋門[市]」)が建てられる。
明治	1862 文久 2 年	〈「本多八幡神社の力石[市]」にこの年の年号が刻まれている〉
	1867 慶応 3 年	尾張徳川家鷹場が廃止される。 ●大政奉還 王政復古
	1868 明治元年	恋ヶ窪村出身の俳句の宗匠宝雪庵可尊が帰郷する。
	1871 4 年	日本橋浜町(中央区)の品川県庁で御門訴事件が起き、首謀者とされた野中新田と右衛門組名主などが亡くなる。 玉川上水に通船が許可され、各村の分水口が統廃合される。
	1873 6 年	前年発布の学制により国分寺村に最勝学舎が開校する。
	1874 7 年	中藤新田に断機学舎、中新田六左衛門組に里仁学舎が開校する。
	1889 22 年	国分寺村外9村が合併して国分寺村ができる。 甲武鉄道(現 JR 中央線)が新宿・立川間で開通し、同時に国分寺駅が開業する。
	1893 26 年	西多摩郡・北多摩郡・南多摩郡(三多摩)が神奈川県から東京府へ移管される。
	1894 27 年	鳥居龍蔵らによる発掘調査が国分寺駅東側で行われ、国分寺村石器時代遺跡(本町遺跡=本町二丁目)と命名される。 川越鉄道(現西武国分寺線)が国分寺・東村山間で開通し、翌年川越まで開通する。
	1895 28 年	国分寺・府中間で乗合馬車が開業する。 米津寺(東久留米市内)の18世紀中頃建造の楼門(「国分寺楼門[市]」)が国分寺へ移築される。
大正	1897 30 年	●古社寺保存法制定
	1900 33 年	旧国分寺村名主屋敷(現おたかの道湧水園)に倉(「日本多家住宅倉[市]」)が建てられる(昭和8年に改修)。
	1908 41 年	国分寺郵便局が開局する。
	1910 43 年	国分寺・下河原(府中市)間に東京砂利鉄道(のち下河原線、現 JR 武蔵野線の一部)が開通する。
	1911 44 年	国分寺村役場が内藤新田(日吉町一丁目)から恋ヶ窪(現 JA 東京むさしの国分寺支店)へ移転する。
	1913 大正 2 年	京王電気軌道(現京王電鉄)が国分寺・調布間に乗合自動車を開業するが、翌年廃止になる。
	1914 3 年	国分寺村に京王電気軌道から電気が供給される。
	1915 4 年	三菱合資会社営業部長の江口定條が別荘「随宜園」を作る。
	1918 7 年	今村銀行頭取の今村繁三が田畑農園を買収し、別荘を作る。
	1921 10 年	国分寺村に電話が開通する。
昭和	1922 11 年	武蔵国分寺跡が史蹟名勝天然記念物保存法に基づく国の「史蹟」に指定される。
	1923 12 年	●関東大震災
	1926 15 年	国立駅が開業する。
	1928 昭和 3 年	多摩湖鉄道(現西武多摩湖線)が国分寺・秋山間で開通する。同時に東国分寺駅(現恋ヶ窪二丁目、昭和20年営業中止、同29年廃止)が開業する。 国分寺・府中間に乗合自動車が開業する。
	1929 4 年	●国宝保存法制定 三菱合資会社の岩崎彦彌太が江口家別荘を買収する。
	1933 8 年	中央工業株式会社南部銃製造所(のちに新中央工業)が国分寺村へ移転してくる。
	1934 9 年	下河原線が東京競馬場へ引込線を設け、競馬開催時に旅客運送始める。 国分寺村が町制施行し、国分寺町が誕生する。
	1940 15 年	小林理学研究所が設立する。
	1942 17 年	今村別荘が日立中央研究所になる。
	1945 20 年	五日市街道沿いにアメリカ軍 B29 が墜落。恋ヶ窪に爆弾が落とされる。本多新田と内藤新田に焼夷弾が落とされる。 ●終戦
昭和	1946 21 年	大倉経済専門学校(現東京経済大学)が赤坂葵町(現在の港区虎ノ門)から中央工業(株)国分寺製造所の南半分に移転する。
	1950 25 年	●文化財保護法制定 国分寺の前住職が万葉集にちなむ植物の収集を開始し、のちに「万葉植物園[市]」を開園する。
	1955 30 年	糸川英夫率いる東大生産技術研究所が新中央工業敷地内(現早稲田実業学校内)で国産小型ロケットの水平発射実験を成功させる。 西武国分寺線の恋ヶ窪駅が開業する。
	1956 31 年	国分寺駅南口が開設される。
	1959 34 年	国立駅北口が開設される。
	1960 35 年	町文化財保護条例が設置される。町営水道の供給が開始される。
	1963 38 年	町役場が戸倉一丁目に移築移転される。
	1964 39 年	国分寺町が市制施行し国分寺市が誕生する。地番整理・町名変更を実施する。
	1969 44 年	都立国分寺高等学校が開校する。
	1973 48 年	武蔵野線が府中本町・新松戸間で開通し、下河原線は廃止される。西国分寺駅が開業する。
平成	1974 49 年	東京都が岩崎家から別荘を買収し、昭和54年に都立「殿ヶ谷庭園(随宜園)[国]」として開園する。 「お鷹の道・真姿の池湧水群」が環境庁名水百選に選ばれる。
	1985 60 年	国分寺駅ビルが開業する。
	1989 平成元年	新潟県佐渡郡真野町(現佐渡市)と姉妹都市となる。
	1993 5 年	オーストラリアのマリオン市(南オーストラリア州)と国際姉妹都市になる。
	2002 14 年	旧国鉄・鉄道学園跡地に都立武蔵国分寺公園が開園する。
	2001 13 年	早稲田実業学校が国分寺市本町に移転する。
	2009 21 年	国分寺町文化財保存館が開館、おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館が開園する。
	2011 23 年	●東日本大震災発生
	2015 27 年	小惑星に「コクブンジ(Kokubunji)」の名称がつけられ、国際天文学連合によって公式決定される。
	2017 29 年	長野県飯山市と友好都市協定を締結する。 東京都立多摩図書館が開館する。
令和	2018 30 年	埼玉県鳩山町と友好都市協定を締結する。 国分寺駅北口再開発ビル cocobunji EAST cocobunji WEST が開業する。
	2020 令和 2 年	東京都立公文書館が泉町二丁目に移転する。
	2023 5 年	東京消防庁国分寺消防署が泉町二丁目に移転する。
	2025 7 年	国分寺市庁舎が泉町二丁目に移転する。